

# No. 1357

## 新春タコあげ大会

— 三重・長島温泉 —

新春恒例のタコあげ大会が1月15日、三重県長島温泉で行なわれました。ちびっこたちは自分で作ったタコを、また大人たちはタタミ30枚もあわせた大きさのタコを、それぞれ初春の風に乗せて楽しみました。折から風向きもよく、勢いよく、あがるタコに見物の人々も大喜び。今年の運勢を舞いあがったタコにたくしているようでした。

## 20歳の献血

東京渋谷区にある日本赤十字社中央血液センター。血液を求める電話が昼夜を問わず鳴り続けている。一日平均900件、多い日には1,000件を越える。この血液の要求に対して保存されている血液はおよそ半分に満たない。血液は一般の方々が行う献血にほとんどたよっている。中央血液センターには現在7台の献血車がある。この献血車がふるに活動して。1日約12万ccの血液が可能である。1月15日は成人の日。この日全国で159万人の若者が大人の仲間入りをした。愛の献血車も会場へやってきた。この日20歳の若い人たち約100人が献血に協力した。生命の維持に最も重要である血液。明日は我が身のたとえもあります。献血にはできる限り協力したいものです。

## やっと新天地へ

— 岐阜・関ヶ原 —

関ヶ原の合戦で名高い岐阜県不破郡関ヶ原町。盆地の片隅に軒を合わせるようにたたむ旭ヶ丘住宅では、今深い雪の中、28世帯の集団移転が行なわれている。新幹線の騒音公害とたたかうこと8年、ようやく静かな生活環境を実現できただけに住民の顔はあかるい。ある住民は「3日に一度は騒音対策の集会を開いた。その間、病をおして出たこともあった。これで安心して住めます」昭和39年、世界に誇る新幹線を開通。早く、正確で、しかも安全、それは夢を乗せて走る超特急であった。が一面では地域住民を騒音で悩まし続けてきた。騒音をめくり、裁判も行なわれた。旭ヶ丘住宅では、集団移転という全国的にも珍しい解決をみた。騒音から逃れ、新しい生活環境造りが始まる。